



令和7年度 第2回 日進市地球温暖化対策地域協議会 次第

日 時：令和8年3月11日（水）
午前9時30分～11時
場 所：市役所本庁舎4階 第2会議室

1 あいさつ

2 議 題

- (1) 令和7年度事業報告について
- (2) 令和8年度事業計画（案）について
- (3) 各委員の令和7年度の実績報告及び令和8年度の実績について
- (4) その他

【資 料】

- 資料NO. 1 令和7年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告
- 資料NO. 2 令和7年度にしん省エネ倶楽部事業について
- 資料NO. 3 令和8年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画
- 資料NO. 4 令和8年度日進市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)における事業計画の位置づけ
- 資料NO. 5 各委員の令和7年度の実績報告及び令和8年度の実績

委員名簿

委員の区分	委員名	
学識経験を有する者	愛知学院大学 総合政策学部 教授	石橋 健一
事業者	中部電力パワーグリッド株式会社 天白営業所長	濱口 誠
	東邦ガスネットワーク株式会社 地域計画部東部計画センター 春日井事業所係長	小見山 浩一
	あいち尾東農業協同組合 本店営業店 基幹支店長	加藤 隆司
	名鉄バス株式会社 名古屋営業所長	加藤 紀幸
	荒川工業株式会社 総務部長	今村 慎吾
	中央可鍛工業株式会社 総務人事部総務課	太田 直美
	株式会社ジェイテクトギヤシステム 安全施設環境室 施設環境グループ 課長	小林 成昌
公募の市民		刑部 雄幸
		川島 宏道
その他市長が必要と認める者	日進市商工会 理事	塚本 浩文
	生活協同組合コープあいち ブロック運営部 尾張東ブロック長	鈴木 拓摩

事務局	市民生活部長	加藤 慎司
	市民生活部環境課長	中村 一弘
	環境課課長補佐	荒川 達郎
	環境課主任主査	水野 洋佑
	環境課主事	羽田 真依子



令和7年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告

1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、二酸化炭素の削減取組等を着実に進める。

2 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進する。各事業が、どの施策方針にあたるかについては、「令和7年度日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における事業計画の位置づけ」（第1回協議会配布資料）に記載のとおりである。

(1) 住宅用地球温暖化対策機器設置費補助事業の実施（A1 A2 B1 B2）

住宅への太陽光発電システム、エネファーム、蓄電池、HEMS、V2H、ZEH住宅、エコ窓などの総エネ、畜エネ、省エネ設備機器の設置費に対する補助事業を実施する。

目標：補助件数 198件

【交付申請状況】81人 ※令和7年12月31日現在

補助額合計：5,525,100円

①家庭用エネルギー管理システム（HEMS）	13件	
②定置用リチウムイオン蓄電システム	30件	
③家庭用燃料電池システム	17件	
④電気自動車等充給電設備（V2H）		1件
⑤エコ窓改修	8件	
⑥一体的導入（太陽光発電システム+HEMS+蓄電システム）		17件
⑦一体的導入（太陽光発電システム+HEMS+電気自動車等充給電設備）		1件
⑧一体的導入（太陽光発電システム+HEMS+高性能外皮等）		10件

(2) 東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト（A1 A4 A5）

地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置されるエネファームにおけるJクレジット創出プロジェクトを継続する。令和7年度から地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置される太陽光発電設備や蓄電池におけるJクレジット創出プロジェクトも実施しており、令和8年度も継続する。東邦ガス株式会社が太陽光発電設備等設置者から発電データの収集や二酸化炭素削減量を確認の上、国へのJクレジット申請を行う。

【実績】 ※令和7年12月31日時点

・くらしカーボンニュートラルクラブ加入者数 66人

(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施

(A1 A2 A3 A4 B1 B2 C1 C2 C3 C4 D1 D2)

地域において事業者、教育機関、行政機関と連携し、国民運動「デコ活・COOL CH OICE」への参加を呼びかけ、市内の家庭や事業所からの温室効果ガス排出量の削減を促すための啓発活動を行う。

子どもを通じた家庭の省エネを推進するため、小学校出前講座、企業による温暖化講座等の実施や、市内でユネスコスクールに認定されている中部大学第一高等学校など外部機関とも連携し、普及啓発に努める。

【実績】

参照：資料2 にっしん省エネ倶楽部事業について

(4) 公共施設のLED化の実施 (A1 A5)

公共施設の照明のLED化を順次進める。

【実績】

令和7年度にスポーツセンターを始め9施設のLED化を実施

(5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施 (A2 B1 B2)

太陽光発電設備や蓄電池の設置を希望する市民等を募集し、一括して発注することで、設備導入費用の低減を図る事業を実施する。令和7年度から新たに、事業者向けとして10kw以上の太陽光発電設備の共同購入事業も実施する。

【実績】

・参加登録者 112人

・契約件数 4件 (令和7年12月31日時点)

①太陽光パネルのみ 0件

②太陽光パネル+蓄電池 1件

③蓄電池のみ 3件

※事業者向け太陽光発電設備 0件

(6) 次世代自動車購入費等補助事業の実施 (A3)

次世代自動車の普及促進のため、市民や事業者に対する次世代自動車の購入費等補助事業を実施する。 目標：補助件数 50件

【交付申請状況】 59人 ※令和7年12月31日時点

補助額合計：3,050,000円

①電気自動車（EV）	28件
②プラグインハイブリッド自動車（PHV）	18件
③燃料電池自動車（FCV）	0件
④電気自動車（EV）＋普通充電設備	7件
⑤プラグインハイブリッド自動車（PHV）＋普通充電設備	6件

(7) 公共施設への次世代自動車の充電ステーション設置事業 (A3)

次世代自動車の充電インフラ整備のため、道の駅に充電ステーションを設置する。

【実績】

市役所本庁舎に4基設置あり。令和7年度、新たに道の駅に1基を設置

(8) 公共施設の空調等設備の省エネ設備への更新 (A1 A5)

市役所、小中学校、福祉会館等において電気設備、空調設備等の設計・更新を行う。

【実績】

令和7年度に市民会館を始め5施設の空調機の更新を実施

(9) 日進市環境保全・創出のための行動計画の推進 (A5)

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市庁舎等の省エネ、省資源、エコ通勤などの推進を図る。

職員の取組度合いを毎月、環境保全チェックシートで把握する。

目標：85%（達成率）

【実績】

81.9%（令和8年2月16日時点）

二酸化炭素排出量の削減に加えて、公務能率の向上及びワーク・ライフ・バランスの実現につながる取り組みとして、在宅ワーク、フレックスタイム制、時差出勤、選択的週休3日制の導入などを行った。職員の取組度合いを、各課から選出された「環境保全・創出のため

の行動計画推進委員」に電子申請にて回答してもらい状況把握した。

(10) 産業立地促進奨励制度の実施 (B1)

企業誘致に際し、工場等の新設又は増設に伴い、再生可能エネルギー設備を設置する事業者に対し補助を実施する。

【実績】

奨励金交付要綱を制定し、令和5年度より制度導入を行った。現在のところ実績なし。

(11) 地域公共交通計画に基づく取組 (C1)

環境負荷の小さい移動手段である公共交通の利用を促進するため、自動運転バスの実証実験や名古屋商科大学のスクールバスを活用し、くるりんばすを始めとする様々な交通手段のベストミックスで交通ネットワークの充実を図る。令和6年10月から実施している、75歳以上を対象としたくるりんばす実質無料化事業「にっしんシニアパス75」も引き続き実施予定

【実績】

道の駅マチテラス日進の開駅に合わせて路線の見直しを実施した。また、昨年度に引き続き、自動運転バスの公道での実走実験を行い、名古屋商科大学のスクールバスの混乗利用を行っている。また、75歳以上を対象としてタクシーによる少量輸送事業（くるりんタクシー事業）を実施している。

令和6年10月からは、75歳以上を対象にくるりんばすに実質無料で乗車できる「にっしんシニアパス75」を継続実施している。

(12) プラスチックの一括回収の実施 (C2)

ごみの焼却処分に伴う二酸化炭素の排出を削減するために、プラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品の回収を実施する。

【実績】

令和6年4月から識別マークのない「プラスチック製品」も資源プラスチックとして回収している。

(13) 食の地産地消による省エネの推進 (C3)

食の地産地消を進め、フードマイレージ（食料の輸送量と輸送距離を掛け合わせた指標）を小さくすることにより、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

ア 6次産業化支援事業

6次産業化による新商品開発及び販路開拓を支援するため、農業者、中小企業者等に対し、事業の経費の一部を補助する。

これにより、日進市の農畜産物の普及及び農業者の所得向上並びに経済の活性化を図るとともに、地産地消を推進し、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

目標：補助件数 3件

イ 地産地消の推進

地元野菜が購入できるマルシェ等の開催支援を行う。コンビニ、スーパーに加え新たに道の駅にて日進市産の農産物等を販売する。ロゴマークやシールを用いて日進市産農産物の普及促進を行う。学校給食では地場産物を積極的に使用する。

【実績】

ア 6次産業化支援事業

12月末現在	申請1件	団体	1件	100,000円
		中小企業者	0件	0円
		大学	0件	0円

イ 地産地消の活動の周知

道の駅や市内スーパー、コンビニでの日進市産農産物の販売を支援した。

日進市産もち米「こはるもち」の特産化の取組を継続的に実施した。

1月の全国学校給食週間では、日進市産の野菜を使った「日進市産冬野菜カレー」を学校給食で提供し、地元でとれる野菜を知り、味わう機会づくりを行った。

(14) 緑化等による温室効果ガス等の削減事業 (C4)

公共空間や民有地の緑化を進め、緑とのふれあいや暑さを和らげる効果により冷房の設定温度を控えるなど二酸化炭素削減の省エネ行動につながっていくことを目的とし実施する。

ア 緑のカーテン事業

a 苗・ネットの配布 (市民・事業者)

苗・ネットを100セット無料配布し、コンテスト参加を促す。(広報5月号で周知)

※苗を上手に植えるコツなどのリーフレットも配布

b 公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福祉会館等に緑のカーテンを設置する。

c 緑のカーテンコンテストの実施

対象：一般部門 (市内にある一般住宅および事業所)、公共施設部門 (学校、保育園等)

実施日：令和7年7月17日～8月29日

審査：令和7年9月 (委員2名に依頼)

表彰式：令和8年1月27日

目標：70件 (コンテスト応募件数)

イ 緑化推進補助事業

市内の緑化の推進を図るため、愛知県が行う「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」に基づき、市民や事業者が行う優良な民有地の緑化の経費の一部に対し、補助する。

※屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化、生垣設置にかかる工事費用

【実績】

ア 緑のカーテン事業

- ・市民・事業者向け (配布数：100件) と市内公共施設 (施設数：38件) に、苗・ネット・応募用紙を配布した。
- ・コンテスト応募件数 74件
一般部門 (市民・事業者向け)：36件、公共施設部門：38件
- ・コンテストの表彰式は、1月27日に市役所市長公室にて実施
- ・表彰については、一般部門から、最優秀賞1名、優秀賞3名を表彰

イ 緑化推進補助事業

・12月末現在 申請6件	個人	5件	4,698,000円
	法人	1件	1,207,000円
	寄せ植え教室	2件	340,000円
	里山保全実践講座	1件	70,000円

(15) 環境学習（ESD講座）の実施（D1）

ア コミュニティ公募提案型事業（にっしんESD事業）の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：市民団体へ事業を委託

イ 企業と連携した講座の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：民間企業と連携して実施する。

ウ 省エネ倶楽部事業等

目標：1,500人（ESD講座参加者数）、55講座（講座実施数）

【実績】

参加者数 1,862人 49/50講座（講座実施数）

※令和7年12月31日時点

ア コミュニティ公募提案型事業：全45講座（12事業）実施予定

・44講座終了：参加者数1,734人（令和7年12月31日現在）

イ 企業と連携した講座：2講座実施

・親子でパソコン分解講座（デジタルピュアリサイクル株）

8月 1日（水）参加者 15人

・親子deリサイクル探検（アルメック株）

8月 5日（火）参加者 19人

ウ 省エネクラブ事業：4講座実施

・地球温暖化を学ぶ科学実験教室（東邦ガスネットワーク株）

7月30日（水）参加者 25人

・あいちecoティーチャー

8月 6日（水）参加者 18人

・次世代エネルギーフェスタ

8月18日（月）参加者 31人

・高校生アロマワークショップ

8月22日（金）参加者 20人

（あかりのエコ教室（パナソニック株）

8月20日（水）（中止）

(16) 各イベントへの参加 (D2)

市民一人ひとりが環境活動に取り組めるよう、イベントの場を活用する。

5月 530運動

7月 わいわいフェスティバル

【実績】

- ・530運動 5月25日実施 当日参加者 631人
- ・わいわいフェスティバル 7月5日実施 (フードロス啓発)

(17) 事業の広報 (D2)

ア 環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信 (毎月15日配信予定)

イ 広報につしん

随時：につしんESD講座参加者募集

4月：住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金・次世代自動車購入費等補助金

5月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集①

緑のカーテン苗・ネットの無料配布募集

7月：緑のカーテンコンテスト参加者募集

8月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集②

12月：環境まちづくりサポーターズポイント抽選会告知

ウ 市ホームページへの掲載

市ホームページで当協議会の事業等について周知・啓発を行う。

【実績】

- ・環境まちづくりサポーターズメールマガジン (12月末時点で累計第120号)
- ・広報につしん・市ホームページを利用して地球温暖化対策の取組について発信

令和7年度 にっしん省エネ倶楽部事業について

1. 事業の目的と概要

本市の地球温暖化対策の取組においては、特に増加が著しい家庭部門での「デコ活」（二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉)アクションが行われることが必要です。そのためには、さまざまな主体が連携して活動する必要があります。本市では、地球温暖化対策地域協議会の活動の一環として「にっしん省エネ倶楽部」と称し、地域における省エネ活動の普及啓発に取り組んできました。また、令和6年3月に第2次日進市環境基本計画に包含する形で地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定しました。新たに策定した計画に基づき、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、事業者、教育機関、愛知県等のさまざまな関係者と協働して、自発的な行動変容やライフスタイルの選択を促す取組の拡大・定着を図ります。

2. 事業内容

1. 多世代連携によるエコライフ普及啓発の展開

中部大学第一高等学校 ESD 部との連携と協働で、市民、高校生、子どもたちなど多様な世代が交流する形での普及啓発を展開しました。

(1) 高校生ワークショップの開催

中部大学第一高等学校 ESD 部では、植物の大切さを伝えるため、「香り」を切り口としたアロマやデコ活に関する学習を進め、令和7年8月22日に市民を対象に、アロマ環境ワークショップを開催しました。前半では、デコ活や香りのクールダウン効果などの説明があり、後半では、ハーブの香りをかいてもらい、効能などの説明を受けながら、好みの香りのアロマスプレーとワックスを作りました。生活の中に自然の香りを取り入れて、自然を大事にしようとする気持ちを育み、地球にやさしい行動に結びつけていただくように啓発しました。

実施日：8月22日午前 参加者10人
午後 参加者10人



2. 家庭の省エネの普及啓発

(1) ストップ温暖化教室

愛知県地球温暖化防止活動推進員と連携し、クイズや実験などを通して地球温暖化について分かりやすく、楽しく学ぶことができる授業を希望する小学校で開催する物ですが、今年度は開催を希望される小学校がありませんでした。



(2) 地球温暖化を学ぶ科学実験教室

東邦ガスネットワーク株式会社と連携し、市民を対象に、実験などを通して地球温暖化について分かりやすく、楽しく学ぶことができる講座を実施しました。

実施日：7月30日 参加者25人



(3) 食べ物とごみのさかい目はどこ? ~ごみをなくそう大作戦! ~

あいち eco ティーチャーと連携し、市民を対象に、食品ロスについてカードゲームなどを通して楽しく学ぶことができる講座を実施しました。

実施日：8月6日 参加者18人



(4) あかりのエコ教室

パナソニック株式会社と連携し、市民を対象に、楽しい実験などを通してあかりの省エネについて学ぶことができる講座を8月20日に実施予定として準備を進めましたが、出校日と重なってしまい今年度の講座は中止としました。

(写真は昨年度の様子。)



(5) 次世代エネルギーフェスタ in 日進

次世代エネルギーの水素とアンモニアについて学んで遊べるイベントを開催しました。水素から電気を作る実験装置を参加者自身が作り、LED ライトを点灯させる実験を行いました。

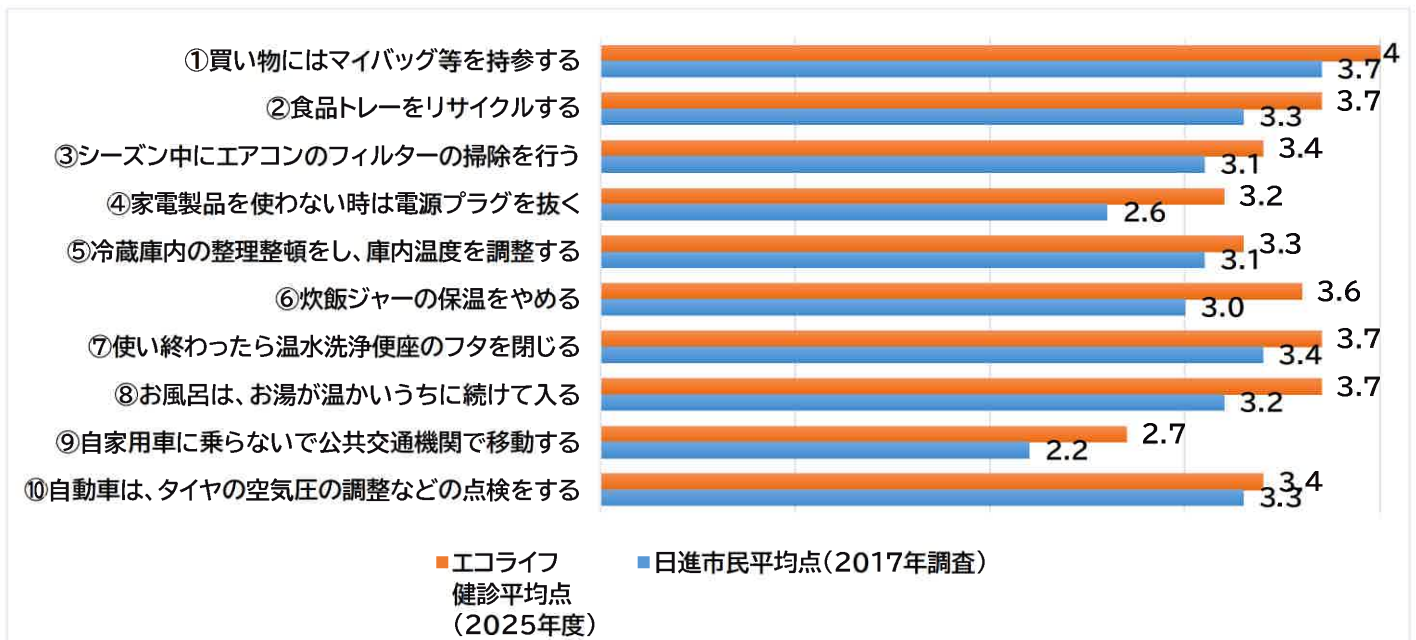
実施日：8月18日

午前の部	参加者	20人
午後の部	参加者	11人

3. エコライフ自己点検の実施と転入者へのエコライフ普及啓発の展開

(1) 「環境まちづくりサポーターズポイント」抽選会でのエコライフ自己点検実施

省エネ行動定着について喚起するための問診型エコライフ診断票を作成し、市民（142人）に環境ポイント抽選会（12月13日～19日）で簡易型のエコライフ自己点検を実施してもらいました。参加者の記入内容をその場でポイント計算して診断書を作成、持ち帰ってもらうことによりエコライフの定着化を図りました。



エコライフ健診の結果を日進市民全体平均値と比較したものの、検診を受けた人のエコライフ実施度は、ほとんどの項目で市民全体の平均値を上回っています。

(2) 転入者への普及啓発

日進市への転入者へ新生活を転機としたエコ活の普及啓発を行うために、転入手続き時に配布する資料の一つとして「にっしんクールライフノート」などを加えて、エコライフの働きかけを行いました。10月～3月の6か月間で〇〇人（12月末時点で1,033人）に配布できました。



普及啓発資料を配布した月別の転入者

	転入者数	転入世帯
10月	340	236
11月	269	190
12月	424	265
1月		
2月		
3月		
合計	1,033	691

3. 事業の成果

取組の参加者数（普及啓発の訴求数）

これらの活動による普及啓発の結果、直接効果〇〇人（12月末時点で1,310人）、波及効果もあわせると合計〇〇人（12月末時点で2,620人）に省エネ等の普及啓発を働きかけることができました。

二酸化炭素削減の効果（試算）

事業の訴求实績数（直接）を元に二酸化炭素の削減効果を試算しました。

推計の結果、本活動の全体の効果として削減効果は、〇〇t（12月末時点で180.8t）の二酸化炭素の削減効果が現れたこととなります。

これは、約〇〇世帯分（12月末時点で約47世帯分）の一年間の二酸化炭素排出量に相当します。

単位：人

実施状況(実績) 項目	訴求实績(延べ数)	
	訴求数 (直接)	訴求数 (推定)
1. 多世代連携によるエコライフ普及啓発の展開	20	40
2. 家庭の省エネの普及啓発	74	148
3. エコライフ自己点検の実施と転入者へのエコライフ普及啓発の展開	1,216	2,432
合計	1,310	2,620



令和8年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）

1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、二酸化炭素の削減取組等を着実に進める。

2 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進する。各事業が、どの施策方針にあたるかについては、資料4に記載のとおりである。

(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施 (A1 A2 B1 B2)

住宅への太陽光発電システム、エネファーム、蓄電池、HEMS、V2H、ZEH住宅、エコ窓などの創エネ、畜エネ、省エネ設備の設置費に対する補助事業を実施する。

目標：補助件数 198件

(2) 東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト (A1 A4 A5)

地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置されるエネファームにおけるJクレジット創出プロジェクトを継続する。令和7年度と同様に、地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置される太陽光発電設備や蓄電池におけるJクレジット創出プロジェクトも引き続き実施する。東邦ガス株式会社が太陽光発電設備等設置者から発電データの収集や二酸化炭素削減量を確認の上、国へのJクレジット申請を行う。

(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施

(A1 A2 A3 A4 B1 B2 C1 C2 C3 C4 D1 D2)

地域において事業者、教育機関、行政機関と連携し、国民運動「デコ活・COOL CHOICE」への参加を呼びかけ、市内の家庭や事業所からの温室効果ガス排出量の削減を促すための啓発活動を行う。

子どもを通じた家庭の省エネを推進するため、小学校出前講座、企業による温暖化講座等の実施や、市内でユネスコスクールに認定されている中部大学第一高等学校など外部機関とも連携し、普及啓発に努める。

(4) 公共施設のLED化の実施 (A1 A5)

公共施設の照明のLED化を順次進める。

(5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施 (A2 B1 B2)

太陽光発電設備や蓄電池の設置を希望する市民等を募集し、一括して発注することで、設備導入費用の低減を図る事業を実施する。令和7年度と同様に、事業者向けとして10kw以上の太陽光発電設備の共同購入事業も引き続き実施する。

(6) 次世代自動車購入費等補助事業の実施 (A3)

次世代自動車の普及促進のため、市民や事業者に対する次世代自動車の購入費等補助事業を実施する。

目標：補助件数 70件

(7) 公共施設への次世代自動車の充電ステーション設置事業 (A3)

次世代自動車の充電インフラとして、本庁舎と道の駅の充電ステーションを引き続き稼働する。

(8) 公共施設の空調等設備の省エネ設備への更新 (A1 A5)

市役所、小中学校、福祉会館等において電気設備、空調設備等の設計・更新を行う。

(9) 日進市環境保全・創出のための行動計画の推進 (A5)

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市庁舎等の省エネ、省資源、エコ通勤などの推進を図る。

職員の取組度合いを、各課から選出された「環境保全・創出のための行動計画推進委員」に電子申請にて回答いただく方法で状況把握する。

目標：75% (達成率)

(10) 産業立地促進奨励制度の実施 (B1)

企業誘致に際し、工場等の新設又は増設に伴い、再生可能エネルギー設備を設置する事業者に対し補助を実施する。

(11) 地域公共交通計画に基づく取組 (C1)

75歳以上を対象としたくるりんばす実質無料化事業「にっしんシニアパス75」を引き続き実施することを予定している。

また、環境負荷の小さい公共交通の利用を促進するため、新しい移動手段の検討を含め、名古屋商科大学のスクールバスやくるりんばすを始めとする様々な交通手段のベストミックスで交通ネットワークの充実を図る。

(12) プラスチックの一括回収の実施 (C2)

ごみの焼却処分に伴う二酸化炭素の排出を削減するために、プラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品の回収を推進する。

(13) 食の地産地消による省エネの推進 (C3)

食の地産地消を進め、フードマイレージ（食料の輸送量と輸送距離を掛け合わせた指標）を小さくすることにより、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

ア 6次産業化支援事業

6次産業化による新商品開発及び販路開拓を支援するため、農業者、中小企業者等に対し、事業の経費の一部を補助する。

これにより、日進市の農畜産物の普及及び農業者の所得向上並びに経済の活性化を図るとともに、地産地消を推進し、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

目標：補助件数 3件

イ 地産地消の推進

地元野菜が購入できるマルシェ等の開催支援を行う。コンビニ、スーパー、道の駅にて日進市産の農産物等を販売する。ロゴマークやシールを用いて日進市産農産物の普及促進を行う。学校給食では地場産物を積極的に使用する。

(14) 緑化等による温室効果ガス等の削減事業 (C4)

公共空間や民有地の緑化を進め、緑とのふれあいや暑さを和らげる効果により冷房の設定温度を控えるなど二酸化炭素削減の省エネ行動につながっていくことを目的とし実施する。

ア 緑のカーテン事業

a 苗・ネットの配布（市民・事業者）

苗・ネットを100セット無料配布し、コンテスト参加を促す。（広報5月号で周知予定）

※苗を上手に植えるコツなどのリーフレットも配布

b 公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福祉会館等に緑のカーテンを設置する。

c 緑のカーテンコンテストの実施

対象：一般部門（市内にある一般住宅および事業所）、公共施設部門（学校、保育園等）

実施日：令和8年7月17日～8月31日

審査：令和8年9月頃（委員2名に依頼予定）

表彰式：令和9年1月頃（予定）

目標：70件（コンテスト応募件数）

イ 緑化推進補助事業

市内の緑化の推進を図るため、愛知県が行う「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」に基づき、市民や事業者が行う優良な民有地の緑化の経費の一部に対し、補助する。

※屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化、生垣設置にかかる工事費用

(15) 環境学習（ESD講座）の実施（D1）

ア コミュニティ公募提案型事業（にっしんESD事業）の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：市民団体へ事業を委託

イ 企業と連携した講座の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：民間企業と連携して実施する。

ウ 省エネ倶楽部事業等

目標：1,600人（ESD講座参加者数）、55講座（講座実施数）

(16) 各イベントへの参加（D2）

市民一人ひとりが環境活動に取り組めるよう、イベントの場を活用する。

5月 530運動（予定）

1月 わいわいフェスティバル（予定）

(17) 事業の広報（D2）

ア 環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日配信予定）

イ 広報にっしん（予定）

随時：にっしんESD講座参加者募集

4月：住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金・次世代自動車購入費等補助金

5月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集①

緑のカーテン苗・ネットの無料配布募集

7月：緑のカーテンコンテスト参加者募集

8月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集②

12月：環境まちづくりサポーターズポイント抽選会告知

ウ 市ホームページへの掲載

市ホームページで当協議会の事業等について周知・啓発を行う。